



特定非営利活動法人 コミュニティリーダー ひゅーる ぽん

事業計画書

2015

活動の基本方針

確かな笑顔と幸せをつくろう Let's make a steady smile and happiness.

昨年8月20日、土砂災害が私たちの街を襲いました。直接被害を免れた私たちは、通常のプログラムを行いつつ、手分けして復興支援にあたりました。土砂で覆い尽くされた街の中で、広島市、社会福祉協議会、多くのNPO、ボランティアさん達とともに災害ボランティアセンターを立ち上げ、その運営に協力しながら、被災地に耳を傾け、ボランティアのコーディネートを行い、土砂かきをし、そしてまたニーズを見ながら活動を組み立て…という日々でした。そして復興支援センターになってからは、被災地を支援するボランティア団体の行う個別訪問やコミュニティカフェの運営に協力するなど、後方支援を行ってきました。未だ、復興への道のりは長いのですが、地域のボランティアセンターとして、あるいは子ども、障がいのある人たちを支援する専門施設として息長くその役割を果たしていきたいと思えます。

そして今年。社会が一つの転換期を迎えます。高齢者福祉の分野では、地域包括ケアシステムが本格的に稼働し、地域（住民）の力で高齢者を見守り支えることが、公的なサービスの体系に組み込まれることとなります。また、子どもの分野では子ども子育て支援新制度がスタートし、これもやはり民間・地域の子育て力に期待が集まります。少子高齢化と長引く不況を抱える私たちの国は、その責任も含めさまざまな役割を、国民、地域へと向けてきています。地域が活性化し、どんどんその力を発揮すると社会は一変するというような幻想を抱いてしまいそうですが、果たしてそれが実現するのかと不安を感じるのは私たちだけでしょうか。地域社会においても、高齢化と貧困化は着実に進んでいます。また、個別化はより一層進み、子どもたちの世界を含め、社会全体のつながりが希薄化してきていることを痛感します。さらに、社会全体のスピード化とそれに伴う効率化の波が、私たちの心を追い立てます。私たちが向き合う現場でも、その波は確実にやってきています。その波に乗ろうとすればするほど、現場がギクシャクしてしまうと感じるのは、決して私だけではないはずです。

現場で子どもたちとともにいると、先述の「希薄化（個別化）」「スピード化」「効率化」は全くなじまないと感じます。子どもたちは、集団の中で、ゆっくり、一見無駄にあふれた行為を通して、人と人のつながりを築き、そのつながりを深めながら、安心感に変え、協力して物事を実現する力に成長させていくからです。土砂災害の際、夏休みや仕事の休みを利用して…とボランティア活動にいらっしゃった高校生や一般市民のみなさんが、マニュアルがない中、試行錯誤をされながらも相互に声をかけあいながら、思いをひとつにして、いきいきと輝きを放って活動をされている姿を見ていた時も、ふと何か通じるものがあるなと感じたことがありました。

こうした難しい社会だからこそ、今、私たちは、スピードや効率、利便性を求めつつも、いや、時にはそれを横に置いておいても、つながりあい、力を合わせ、試行錯誤をあれこれと重ねることが大切ではないかと思えます。個別化、スピード化、効率化という見えないものを求める社会にあって、確実に目に見える幸せを増やしていくことが大切ではないかと考えます。そして、それをはじめられるひとりであることが大切ではないかと思えます。

子どもたちが笑顔を見せていること。人参が食べれるようになったとか、ボタンをかけれるようになった、お兄さんらしく小さい子の世話ができるようになったなど子どもたちが日々成長をしていること。子育てサロンにいらっしゃるお母さんが、「来て良かった」とおっしゃること。ぼんぽんの通所者が楽しそうに絵を描いていること。ボランティアに来てくれた学生が「また来た

い」と言ってくれること。スタッフが、ニコニコ笑って仕事をしていること。また時には真剣な顔をして子どもたちのこと、通所者のこと、地域のことを議論し、考えていること。時には、失敗をすること。そしてまた立ち上がろうと声を掛け合い、次はうまくできるようにやり直すこと。…などなど。

私たちは、今年を、身近なところから確実に笑顔と幸せを創りだしていくための一年にしたいと思います。

運営に関わるプログラム

今年度は、こども発達支援センター部門が3年目を迎えます。ひよこ・きつ組それぞれの療育内容の充実はもとより、子育てサロンをはじめとした外部に向けたセンター事業の充実も次の課題としてあげられています。また、地域活動支援センター部門では、これまで以上に「アート」活動を特化させた取り組みをしていくことで、「アート」がさらに、生活を豊かにしていける力があることを広めていきたいと思えます。

さらに今年度は、事業の一部の社会福祉法人化にむけて具体的な動きが始まる一年となります。その中であっても、NPO法人になった際に踏襲してきた32年前の「ひゅーるぽん」設立当時の理念をそのままに、そしてそれをさらにすすめていくための社会福祉法人化であることをスタッフ一同、確認していきながらその作業を進めていきます。

1-1.各種運営会議

1-1-1 運営に関する会議

1-1-1-1 通常総会

1-1-1-2 顧問監事会

1-1-1-3 理事会

1-1-1-4 運営委員会

1-1-1-5 Think Different・外部協働会議

1-1-1-6 業務セッション会議

1-1-1-7 事業検討委員会

1-1-1-8 こども発達支援センター運営会議

1-1-2 プログラム実施に関する会議

1-1-2-1 コミュニティスペース事業に関わるプログラム会議

1-1-2-2 まちづくり、ボランティア育成事業に関わるプロジェクト会議

1-2.活動支援プログラム

1-2-1 Hull Fan

1-2-2 一般寄付

1-3.スタッフ・リーダー研修

1-3-1 新人スタッフ研修

1-3-2 グループ内研修

1-3-3 他団体主催セミナー（講座）への参加

1-4.その他 広報

法人としての理念や取組みを伝えるための、発信力を高める努力を行っていきます。広報紙またはwebを活用した情報発信等。

コミュニティスペースプログラム

2-1.こども発達支援センター事業

2-1-1 児童発達支援（ひよこ組）＝児童福祉法に規定する障害児通所支援事業

今年度も「安心感、生活習慣、運動、認知・適応、言語、遊び・集団参加」という領域を軸に、個別支援計画を保護者と丁寧に確認しながら、子どもたちが安心して生き生きと自分らしさを発揮できる場にしていきたいと思っております。また、保護者にとっては、前向きに子育てに向かい合えるための支援としてひよこサロンを定例化していきながら座談会形式の中で保護者の日常的な悩みや思いの汲み取りを行なっていくこと、そして保護者同士の前向きなつながり作りに力を入れていきます。サロンの中で出てきた課題については保護者勉強会等で保護者へ返していける体系作りを行なっていきます。

今年度、保健師（看護師）が正規スタッフに加わり、保健衛生面でこれまで以上に細やかにまた多面的に支援を行なっていける体制が整いました。発達支援センターとして3年目、形が確立しつつあるひよこ組。スタッフそれぞれの力量を高めていきながら日々の療育場面だけでなく、保護者支援や外部との連携場面で専門性を発揮できることを目標としながら、子どもやその家族に寄り添った温かい支援を展開していきます。

事業目的	2歳から就学前までの発達に課題のある子ども達の思いや願いをくみ取りながら大切に育む事や生活の支援を行うことを通して、日常生活動作の自立や人・集団に対しての愛着心を育み、いきいきと過ごしていくための支援を行ないます。
実施内容	<p>社会力の基礎となる安心感、交流感の醸成、基本的な生活習慣、運動、遊び・集団参加、認知・適応、言語の5つの領域の支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動計画 発達課題に配慮した個別療育支援計画に基づいた支援をおこないます。 ○行事予定 <ul style="list-style-type: none"> 4月：はじまりの会 5月：徒歩遠足、支援計画提示個別懇談 6月：健康診断 7月：たなばた、水遊び 8月：水遊び、カレーパーティー 9月：お月見会（年長児おとまり会） 10月：遠足、支援計画中間個別懇談 11月：やきいも、歯科検診 12月：おもちつき、クリスマス会、冬休み 1月：冬休み 2月：豆まき（節分）、健康診断、支援計画まとめ懇談 3月：巣立ちの会、春休み <p>※毎月：誕生会・身体測定を実施</p>
実施予定	通年
事業体制	スタッフ、ボランティアリーダーなど
事業費	28,248,318円

2-1-2 放課後等デイサービス事業（きっず組）＝児童福祉法に規定する障害児通所支援事業

きっず組は引き続き「子ども主義」を大切に、育ちの支援を行なっています。集団の中で子ども達が育ち合うための支援をより充実させるため、個別支援計画と合わせて、年齢に合わせた集団ごとの支援目標を設定します。

また、日々の活動に日常生活習慣や健康について取り組んだり意識できるような活動や、継続して取り組み深める活動も取り入れていきます。小学校低学年、中学年の子どもたちは、従来の自発性を大切にした発達支援を行いながら設定プログラムも取り入れ、交流感をしっかりと育てていきます。小学校高学年から高校生の年長の子ども達は、日々の活動以外にひゅーるぼん主催の地域行事や公民館等のおまつり、地域の中高校生との関わりや町内会の行事、ボランティアなど社会と繋がりを感じ、自分らしさを発揮する経験を多く積み、自信と自ら考え行動する力を高めていきます。

子ども達の成長は社会力評価表を基に、相談支援事業、心理、医療分野等と連携をし、多面的に捉えた支援を行っていきます。

保護者とは、従来の個別懇談、日々のやりとりと合わせて、勉強会やその後の交流会を計画し、保護者と子どもの育ちについて思いを共有していくことに積極的に取り組んでいきます。

事業目的	障がいのある子ども達に対して、子どもの想いや願いをくみ取り、大切に育む事を活動の基本とし、安心感を基盤に人や社会とつながって、いきいきと自己の力を発揮していけるよう育ちの支援を行います。
事業内容	<p>安心感、交流感、自己決定感を育み、子ども達の社会力を高めるための支援・指導を行います。</p> <p>○活動計画 年間を通して、子ども達の想いを大切にしながら、自立した日常生活を営むために必要な訓練、創作的活動や作業活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供を行います。</p> <p>月別活動予定</p> <p>4月 バーベキュー（ぼんぽんと合同）</p> <p>5月 保護者交流会、カヌー、保護者勉強会 個別懇談（個別支援計画の確認）</p> <p>6月 クッキング 個別懇談（個別支援計画の確認）</p> <p>7月 プール、キャンプ、保護者勉強会</p> <p>8月 キャンプ、プロ野球観戦、プール、おぼけやしき</p> <p>9月 お泊まり会、夜市への参加</p> <p>10月 サイクリング 個人懇談（個別支援計画の見直し）保護者勉強会</p> <p>11月 サイクリング、地域のお祭りへの参加、個人懇談（進路相談）</p> <p>12月 クリスマス会、保護者交流会</p> <p>1月 初詣、書き初め、個人懇談（個別支援計画の評価）、雪遊び</p> <p>2月 節分、バレンタインクッキング、個人懇談（個別支援計画の評価）</p> <p>3月 さくらまつり、旅行、すだちの会、保護者勉強会</p> <p>その他、ぼんぽんとデイウォーク、ひよこ組と合同遠足を実施予定</p> <p>○個別支援については、子どもの社会性を計る評価表を利用し、子どもたち一人ひとりの現在の状況と課題を促え直し、短期的、長期的な個別の支援計画を作成し、支援を行います。また集団ごとの目標を設定しアプローチを行います。</p> <p>○こども発達支援センターとして、専門性を生かし地域社会で果たす役割を考察しながら、学校・関係機関・医療機関等との連携・協働による支援を行います。</p> <p>○ひよこ組、ぼんぽんととの合同の活動を積極的に行い、関係を深めるとともに、子ども達の成長の場面にします。</p> <p>○個別懇談、保護者勉強会、交流会を通して保護者と想いを共有するとともに、保護者間の繋がりを深める場面にします。</p>
実施予定	通年
事業体制	スタッフ、ボランティアリーダー、外部協力者など
事業費	11,572,891円

2-1-3 保育所等訪問事業＝障害者総合福祉法に規定する事業

事業目的	保育所等において、発達に支援が必要な子どもが他の子どもとの集団生活に適應することができるよう適切で効果的な専門的支援を行います。
実施内容	ひよこぐみ退園児および、障害児相談支援のプランにより当事業が必要と認められた児童への支援をおこなっていきます。
実施予定	通年
事業体制	保育士

2-1-4 障害児相談支援事業（＝児童福祉法に規定する障害児地域支援事業）・障害児指定特定相談支援事業（＝障害者総合福祉法に規定する事業）

昨年度に引き続き、こどもの育ちに関する相談、サービス等利用計画作成に関する相談に対応し、地域の発達に支援の必要な子ども達の育ちを応援していきます。

福祉サービスを必要としている人誰もが、安心して支援を受けながら生活することができるよう、今年度は当事者の声を汲み上げていく自立支援協議会の機能も充実させながら相談支援のこれからのあり方についても考えていきたいと思ひます。

事業目的	地域の発達に支援が必要な子どもが自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう相談支援を行います。
実施内容	○相談の受け入れ 一般的な育ちの支援に関する相談 通所や児童福祉サービスに関わる相談 豊かな地域生活をおくるための相談 他機関（行政、保育園、学校、幼稚園等）との連携 ○サービス等利用計画作成 ○障害者自立支援協議会安佐南地域部会への参加とこども部会の立ち上げ。
実施予定	通年
事業体制	スタッフ
事業費	3,409,468円

2-1-5 その他 こども発達支援センター自主事業 =自主事業

事業目的	こども発達支援センターとしての専門機能を活かし、地域で発達に支援が必要な子どもやその家族への相談、他機関との連携を行い、地域の中核的な療育支援施設としての役割を果たします。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○子育てサロンの開催 月2回の木曜日 10:00～11:30 ボランティア保育士・ひよこぐみ保育士・保健師・相談員が対応していきます ○園庭開放を新しく検討・実施していきます。 ○公開研修の実施 地域の保護者や事業所スタッフを対象にした勉強会を通して障害や市民活動への啓発活動を行っていきます。 ○福祉施設としての役割 学生の職場体験実習を始め積極的に地域・他機関との連携・受け入れを行なっていきます。
実施予定	通年
事業体制	ボランティア 保育士 保健師 相談員 その他のスタッフ

2-2.コミュニティほっとスペースぽんぽん =地域活動支援センター

今年度も、活動への充実感・達成感を高めながら、いきいきと人や社会と繋がって生きていくための支援を行っていききたいと思います。通所者のもつ力を発揮し、オリジナリティのある製品や作品を生み出し、社会に広めていく活動に取り組み始め、ネットワークの広がりとともに、彼らの力を認め彼らの生み出す製品や作品に共感していただける方、心を通わせてくださる方を、より一層増やしていききたいと思います。

昨年度、広島県のみならず、多くの場でぽんぽんのアートを評価していただきました。今年も、彼らのアートを通して、幅広く豊かな楽しい日常を社会に伝え広めていききたいと思います。そのために、今年度の事業は、アート作品の制作、アート関連グッズの制作、アート関係の権利の整備等、活動の中心をアートに置き、特化した形で取り組んでいききたいと思います。

これまで取り組んできた花の事業は、育苗を事務局と協働で行い、ぽんぽんでは販売の方に力を入れていきます。この一年を通して、花の事業の在り方を見つめていききたいと思います。

また、昨年度から通所者の健康面が課題になっています。これまであまり感じることのなかった、年齢を重ねることでの体力の低下・意欲の低下についての取り組みも行っていく必要性を感じています。今年度より正職の保健師が入ったことにより、家族も含めともに考えていききたいと思います。

経常的な運営費の不足をどのようにして補っていくか、これまでの事業を整理しながら、よりわかりやすい方法を明確にしていかななくてはならないと考えています。

事業目的	18歳以上の障がいのある人の就労、社会参画ならびに豊かな地域生活の支援を行うことを通して、人や社会とつながる喜びを感じながらいきいきと豊かに生きていくことを支援する。
実施内容	<p>(1)人や社会とつながっていきいきと豊かに生きる社会生活支援活動</p> <p>○働くことの支援 園芸事業（花の育苗・販売）、アート（アート製品づくり・販売、レンタルなど）を通じた就労・自立支援、社会参画支援。就業生活支援センターと連携した就労支援。</p> <p>○生きがいの支援 アート活動、作品展示、地域行事への参加、レクレーションの実施など。</p> <p>○日常生活の支援 日常生活能力・社会生活能力の向上、健康管理・維持増進に関わる取り組み、生活面の指導・支援、医療・関係機関との連携、人権擁護センターほっと「ほっとさん」の訪問、健康維持活動。</p> <p>(2)あたたかなまちづくりの拠点となる活動 ギャラリーでの絵画展示・貸し出し・企画展、イベントの企画（ぽんぽんマルシェ）、カフェの運営など、日常的な地域の交流拠点づくり</p> <p>(3)利用相談や地域生活に関わる相談、利用希望者の見学・体験、実習生、ボランティア・アートサポーター、見学の受け入れ</p> <p>※自立支援法に基づく「地域活動支援センターⅢ型事業」として実施。</p>
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、ボランティアリーダー、アートサポーターなど
事業費	15,320,116円

まちづくり・ボランティア育成プログラム

3-1 まちづくり

3-1-1 アートサポートセンター『ひゆるる』

3-1-1-1 アート・ルネッサンス2016 =まちづくりに関わる事業

アート・ルネッサンスは自己表現として彼らのアートを大切に伝え、そして彼らのアートがもつ多様な可能性を伝える原点の活動として今年度も作品展を開催します。アートに出会った人がその感動を他の人に伝え、それが新しい出会いを生むように、彼らのアートは人と人をつなぐ力があります。作品展の魅力を多くの人に伝え、作品展を支えるネットワークを一層強いものにしていきます。創作活動に取り組むアーティストに作品展開催を伝え、作品展発表の場であり続けること、そして多様な形で彼らの表現のおもしろさとその価値を多くの市民に伝えていくことを目標とします。

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○障がいのある人のアートが持つ芸術性と価値を広く社会に広めていきます。 ○アーティストと社会がつながる社会参画の場をつくりま。 ○現場で制作するアーティスト、サポーター同士のつながりを広げま。 ○アーティスト、サポーターの表現活動に取り組む創作意欲が高まる取組みを行います。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○中国地方5県で障がいのある人の芸術作品を公募し、選考の上、展示を行います。 ○アーティスト、サポーター、市民との協働の形で開催しま。
実施予定	2016年2月
実施体制	事務局スタッフ、アートサポーター、ボランティアリーダー、一般ボランティア、アーティストなど
事業費	1,110,000円

3-1-1-2 幸せProducts. =まちづくりに関わる事業

幸せProducts.では、引き続きアートの魅力を生かした製品づくりに取り組みます。また、販路の拡大等広告宣伝に力を入れ、製品を手にとることで、アートが生活にあることで生まれる幸せに出会う場面を作っていきます。また、製品化について視点や知識を共有し製品を生み出していく関係者のプラットフォームづくりを進めていきます。

また、昨年設立をした「アートサポートセンターひゆるる」は現場での支援を引き続き行い、創作意欲を高めたり、支援について深めていきます。

これらの取り組みは、社会に新しい価値をもたらす取り組みとして、今年度も彼らの自己表現としてのアート活動を中心に、支え、広げていくことで社会に幸せを生み出していきます。

事業目的	○社会の中で障がいのある人のアートを普及させ、またアートの製品化を通して、障がいのある人の社会参画と自立を促進します。 ○アートをまちづくりに活かす取り組みを、ムーブメントとして高めていきます。
実施内容	○アートを使った新製品を開発、販売。 ○アートルネッサンスと連携した障がい者アートを活用したアートイベントの開催 ○製品化について製品開発会議、外部との意見交換の実施
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、アーティスト、アートサポーターなど
事業費	828,000円

3-1-1-3 アート教室 =まちづくりに関わる事業

事業目的	○障がいのある人のアートを支援するノウハウと資源を活用し、アートに取り組む環境を提供してきます。 ○地域へ開かれたアート教室を開催し、制作環境を高めていきます。
実施内容	○アート教室（陶芸）の開催。月2回。外部より専門の講師を招き、自由な発想で個性的作品づくりを行います。 ○アート・ルネッサンス等の公募展への応募、作品展の開催等、作品を通じた社会参画を行います。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、外部講師
事業費	534,000円

3-1-1-4 地域・社会啓発にぎわいづくりプログラム =まちづくりに関わる事業

事業目的	「ひゅーるぽん」が実施するさまざまなプログラムを通して、多様な人たちの交流の場を創造し、人のつながりづくり，気づきや成長へと発展させていきます。
実施内容	○桜まつり・秋まつり・ぽんぽんマルシェ 啓発とともに地域住民が足を運びやすい地域に開かれた「おまつり」「拠点づくり」をめざします。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ ボランティアに関心のある人
事業費	60,000円

3-1-2 地域協力プログラム =まちづくりに関わる事業

その他、公民館まつり、区民まつり等地域行事への協力を行います。

3-2 ボランティア育成プログラム

昨年の夏、区内でおこった土砂災害では、利用者のご家族やスタッフ、これまでボランティアでお世話になった方々に大きな困難と不幸をもたらしました。しかし、人と人がつながりあうことで、前向きになれる力が芽生えてくることをがれきを前にした活動の中で数多く経験してきました。

今年度の当プログラムにおいても、つながりを大切にしながら、これまでと同様に「新しいものを生み出そうとする原動力」が生まれていくことを目指した事業展開をしていきたいと考えています。

3-2-1 ボランティアセンタープログラム =ボランティアおよびボランティア団体の参加・育成支援、そのための助言に関わる事業

事業目的	ボランティアに関心のある人々を巻き込んでいながら、学び・学びあいの場を提供していきます。 私たちが展開する様々なプログラムに参加することとおして、ボランティア・市民活動について相互に学び合う場を作ります。
実施内容	○それぞれの拠点、行事等への文化活動やボランティアの積極的な受け入れ ○中学生・高校生・大学生の職場体験実習やボランティアの積極的な受け入れ ○近隣の中学生にボランティアやひゅーるぼんに関心を持ってもらう取り組みの開始
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、外部講師

3-2-2 ボランティアコーディネーター養成講座 =ボランティアおよびボランティア団体の参加・育成支援、そのための助言に関わる事業

事業目的	○ボランティアコーディネーターの知識を深めるとともに、実践力を身につけたコーディネーターを育成することで、各団体におけるボランティア受け入れ資質の向上と市民活動の充実を図ります。 ○広島各現場で活動するコーディネーター同士が日常的につながること、連携によるコーディネートが可能になるとともに、協働によるまちづくり活動を実施します。
事業内容	基礎編・応用編の2本立ての研修を開催する予定です。
実施予定	通年（年2回）
実施体制	スタッフ 広島市社会福祉協議会との共催
事業費	25,000円

3-2-3 広島市災害ボランティア活動連絡調整会議協力プログラム

＝緊急・災害時の支援に関わる事業

事業目的	「広島市災害ボランティア活動連絡調整会議」構成団体として、協働しながら災害時の対応にあたります。
実施内容	○定例会議への参加 ○災害ボランティアセンター開設・運営シミュレーションへの参加 ○その他
実施予定	通年
実施体制	スタッフ 協働団体

3-2-4 その他 講師・委員派遣 =ボランティアおよびボランティア団体の参加育成支援、そのための助言に関わる事業

事業目的	講師や委員の派遣を通して、社会啓発、障がいのあるこどもと大人の福祉の充実・ボランティア・NPO活動を推進するための社会基盤整備、まちづくりに関する提言を行います。同時に他団体とのネットワークを強化していきます。
事業内容	行政・学校・他団体等からの要請に応じて、講師・委員を派遣します。
実施予定	通年
実施体制	事務局スタッフ、ボランティアリーダー

特定非営利活動法人 コミュニティター-ひゅーるぽん <H27年度> 年間予算総括表

第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	経常収益	人件費	その他経費	当期経常増減額	
運営に関わるプログラム	法人事務局	法人事務局	法人事務局	493,500	15,184,536	6,798,734	(21,489,770)	
		Hull Fan	Hull Fan	394,000	0	197,000	197,000	
		寄付金	法人事務局 ぽんぽん	100,000 100,000	0 0	0 0	100,000 100,000	
		特別会計	施設利用費	1,071,000	0	0	1,071,000	
	運営に関わるプログラム合計			2,158,500	15,184,536	6,995,734	(20,021,770)	
コミュニティスペースプログラム	こども発達支援センター事業	児童発達支援（ひよこ組）	児童発達支援（ひよこ組） 給食	53,995,054 5,697,839	22,111,020 4,012,848	280,200 1,677,090	31,603,834 7,901	
		放課後等デイサービス事業（きっず組）	放課後等デイサービス事業（きっず組） 送迎	16,261,981 1,039,146	10,952,136 0	95,400 0	5,214,445 1,039,146	
		保育所等訪問事業	保育所等訪問事業 その他（訪問事業）	0 0	0 0	0 0	0 0	
		障害児相談支援事業・障害児指定特定相談支援事業	障害児相談支援 障害児指定特定相談支援 療育等支援 一般相談	1,524,492 0 0 0	3,367,008 0 0 0	14,400 0 0 0	(1,856,916) 0 0 0	
		その他 こども発達支援センター自主事業	自主事業	0	0	0	0	
		センター共通	センター共通	0	0	2,905,689	(2,905,689)	
		こども発達支援センター事業合計			78,518,511	40,443,012	4,972,779	33,102,720
	コミュニティほっとスペース ぽんぽん (地域活動支援センター)	コミュニティほっとスペースぽんぽん	一般会計 社会参加支援	一般会計 社会参加支援	16,262,400	9,934,260	3,416,248	2,911,892
			特別会計 アート	特別会計 アート	1,100,000	440,000	660,000	0
			特別会計 育苗	特別会計 育苗	840,000	336,000	504,000	0
特別会計 カフェ			特別会計 カフェ	0	0	0	0	
特別会計 直送便			特別会計 直送便	540,000	102,000	438,000	0	
コミュニティほっとスペースぽんぽん（地域活動支援センター）合計			18,742,400	10,812,260	5,018,248	2,911,892		
まちづくり・ ボランティア育成プログラム	まちづくり	アート・ルネッサンス2015	アート・ルネッサンス2015	1,055,000	0	1,055,000	0	
		幸せProducts.	幸せProducts.	828,000	0	828,000	0	
		アート教室	アート教室	492,000	0	492,000	0	
		地域・社会啓発にぎわいづくりプログラム	秋祭り、桜祭り、ぽんぽんマルシェなど	60,000	0	60,000	0	
		地域協力プログラム	公民館まつり、安佐南区民まつりなど	90,000	0	90,000	0	
	まちづくり合計			2,525,000	0	2,525,000	0	
	ボランティア育成プログラム	ボランティアセンタープログラム	ボランティアセンタープログラム				0	
		ボランティアコーディネーター養成講座	ボランティアコーディネーター養成講座	25,000	0	25,000	0	
広島市災害ボランティア活動連絡調整会議協力プログラム		広島市災害ボランティア活動連絡調整会議協力プログラム				0		
その他 講師・委員派遣		その他 講師・委員派遣				0		
ボランティア育成プログラム合計			25,000	0	25,000	0		
合計金額				101,969,411	66,439,808	19,536,761	15,992,842	